

令和5年7月23日
今週のベストショット



奈多グラウンド 奈多クラブ 対 ソルトベ이스ターズ戦

同点で迎えた五回表、今季初勝利をもたらした奈多クラブ七番西宮選手の豪快な一発！！

写真：奈多サンデーズ 野々下 利生久

奈多グラウンド 西宮選手のHRで今季無敗のソルトベ이스ターズに勝利！！

奈多クラブ (1勝5敗) 0 3 1 0 2 0 6 吉田(貴)、木下(慶)○、西宮-安河内
ソルトベ이스ターズ(2勝1敗2分) 3 0 1 0 1 0 5 江良、酒井●-山の川

HR：西宮(奈多ク)、野口(ソルト) 2BH：末満(奈多ク) 盗塁：新郷、野口(ソルト)

一回表、奈多クラブ一番今林(賢)選手のレフトに上がった打球をソルトベイスターズ石井左翼手がダイビングキャッチ！先発の江良投手を助ける。その裏、ソルト一番の新郷選手が内野安打と盗塁でチャンスを作ると、2本のヒットに相手ミスも絡みこの回3点を先制する。二回表、ソルトは1点を返されると、二番手として酒井選手がマウンドに上がる。代わった直後、奈多クラブ九番末満選手がライトオーバーのタイムリー二塁打を放ち同点とする。三回表、奈多クラブ先頭の安河内選手がレフト前ヒットで出塁しチャンスを作ると、内野ゴロの間に返り勝ち越す。その裏ソルトは相手のエラーでチャンスを作ると五番中村健選手のセンター前タイムリーですぐさま同点に追いつく。両者譲らぬ展開の中、五回表奈多クラブ七番西宮選手のライトを大きく越える2ランHRで2点勝ち越す。ここで終わらないソルトはその裏に四番野口選手のランニングHRで1点を返す。最終の六回裏、HRを放った奈多クラブ西宮選手がマウンドに上がり、粘るソルトを0点で抑え試合終了。両チームファインプレー続出で、どちらが勝ってもおかしくなかった素晴らしい試合だった。これで奈多クラブは今季初白星を挙げ、ソルトベイスターズは初黒星を喫した。(記事：奈多サンデーズ 野崎 隼介、写真：野々下 利生久)



ソルトベイスターズ先発の江良投手。



奈多クラブ先発の吉田投手。



先制点のホームイン、ソルト新郷選手。



和白リーグ初先発となった奈多クラブ木下（慶）投手。



勝ち越しの2ランを放った奈多クラブ西宮選手。



走攻守で活躍を見せた奈多クラブの今林（鷹）選手。



何とか初勝利をもぎ取った奈多クラブ投手陣。

青松園A 三苦三球会の見事な攻撃

三苦三球会 (5勝1敗) 3 1 0 2 2 8 鮎川○ー藤澤(隆)

塩浜ジャガーズ(1勝5敗) 0 0 0 0 2 2 立石●ー竹尾

2BH: 大津(三球会) 内田、三船(塩浜ジ) 盗塁: 船橋、大津、岩本(三球会)

一回表三苦三球会は、先頭船橋選手が内野安打で出塁すると、一死後三番鮎川選手の四球と四番大津選手、五番藤澤(隆)選手のタイムリーとワイルドピッチで3点先制。その裏、塩浜ジャガーズの攻撃は、先頭の内田選手が二塁打で出塁するも、続くことができず無得点で終了。二回表の三球会は、二死から二番岩本選手の安打、盗塁と、三番鮎川選手のタイムリーで一点追加。さらに、四回表の三球会は、堺(達)選手が四球で出塁すると、ワイルドピッチ2、死球と四番大津選手の二塁打で2点追加。その裏、塩浜ジャガーズは、四番佐藤選手と五番立石選手の安打と鮎川投手の失策により、無死満塁のチャンスを作るが、ここもサードゴロ、セカンドゴロWプレーで続くことができず無得点で終わってしまう。最終回の三球会の攻撃も、先頭の浜口選手の安打、四球、ワイルドピッチ、失策でダメ押しの2点追加。その裏、ジャガーズ先頭の九番竹尾選手が四球で出塁すると、ワイルドピッチと二番道喜選手の内野安打で一死二三塁のチャンスを作ると、三番三船選手が二塁打を放ち2点返した。しかしこの後続くことができず、8-2で試合終了となった。(編集・写真:三苦ホーネッツ 只松 輝大)



塩浜ジャガーズ先発の立石投手。



三苦三球会先発の鮎川投手。



2安打3打点の三球会四番大津選手。



最終回、二塁打を放ったジャガーズ三番三船選手。

青松園B フェニックス西藤投手の丁寧な投球光る快勝

ブルーマーリンズ（3勝3敗1分）000000 0 水上●、中山、水上一坂本

奈多フェニックス（4勝2敗）102002 5 西藤○ー香山

HR：丹羽2（奈多フ） 2BH：坂本（ブルー） 盗塁：望月、西藤2（奈多フ）

ジメジメムシムシした不快指数高めの中での一戦。一回表ブルーマーリンズの攻撃は三者凡退。その裏の奈多フェニックスは、一死から二番丹羽選手の右中間を抜く本塁打で幸先良く1点先制する。続く二回裏も一死満塁のチャンスを作る。しかし打者三振に一塁走者がアウトカウントを間違えたようで飛び出してしまいWプレーで無得点。三回裏一死から二番丹羽選手が二打席連続本塁打を左中間に放ち2点目。続く三番望月選手が四球を選ぶと即盗塁を決め、さらに2つのワイルドピッチで本塁まで帰ってきて追加点。反転攻勢したいブルーマーリンズは六回表一死から一番坂本選手が左中間を抜く二塁打でようやくチーム初安打。続く井上(紘)選手も安打を放ち一三塁のチャンスを作るも後続が倒れて無得点。六回裏フェニックスは、四番西藤選手の安打を皮切りに4つの四死球を選び2点を追加した所で時間切れとなり試合終了となった。勝ったフェニックスは先発完投した西藤投手が丁寧にコーナーを攻め、緩急を使いブルー打線を五回までノーヒットに抑えるナイスピッチングと丹羽選手の2本の本塁打は見事だった。敗れたブルーは相手投手の投球に翻弄されなかなかチャンスを作れなかったのは痛かったのと、せっかくチャンスを作っても走塁意識が足りないように見受けられたので勿体ないという印象だった。両チームとも守りでは立て続けに好守があり締まった試合で見ている側としては面白いゲームでした。

（記事：新町ウィンズ 野中 一史、写真：大久保 浩）



ブルーマーリンズ先発の水上投手。



2番手で登場、ブルーマーリンズ中山投手。



何としても塁に出る！！ブルーマーリンズ中山選手。



右中間へ鋭い打球を放つ奈多フェニックス丹羽選手。



果敢に2塁を狙う 奈多フェニックス望月選手。



どういわけか試合でも審判でもボールがぶつかる
和白新町ウィンズ 球審今林さん。



投のヒーロー、2安打完封の奈多フェニックス西藤選手。



打のヒーロー、2打席連続HRの奈多フェニックス丹羽選手。